

2019年9月14日(土)・15日(日)
GLAMデータを使い尽くそうハッカソン
(試作品の概要)

地元でサーチ (仮称)

JIMOTO DE SEARCH (TBD)

チーム1

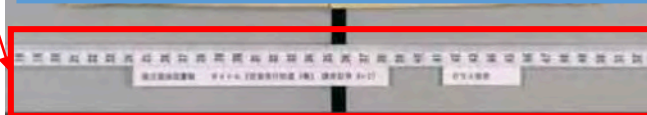
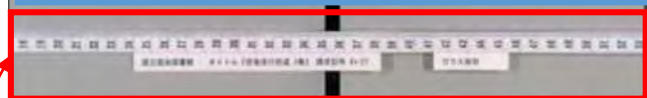
青池・青木・伊藤・大橋・加藤・徳川・永崎
(五十音順、敬称略)

♣ アイデアの背景

IIIFにアーカイブされている様々な写真を比較してみる事ができたら良いのではないか？

画像によってサイズが異なるので、比較をするためには手動で調整する必要がある

例えば、百鬼夜行のデータ



比較対象

スケール

例えば、万葉集の比較



同一作品でも、出典場所によって書体が異なる

♣ これが実現できると何がうれしいか？

- 同一物語で描かれているものを比べる
- 古地図と別の古地図の比較
- 生物図鑑の写真の比較
- 写本を重ねて伝承先を探る etc…

研究者は効率的に研究ができる

学校の授業などでも使える

♣ チームで沸き起こる問題提起



何か知りたい対象物
がある人は良いけど、
背景知識を持たない
人には使ってもらえな
いかもしれない

♣ チームで沸き起こる問題提起

問いを立てられる
考えがつけられる
ストーリーテリングが重要！

♣そこで「地元でサーチ(仮称)」

- 自分がいる場所から行ける場所にはどのような文化財があるのかを検索できます
- 検索軸は「徒歩、飛脚、馬、早駕籠、車」などの文化的要素を準備
- 行ける範囲の情報をいくつかのカテゴリに分類し、整理します
- 興味のあるデータをブックに比較を行います

♣「地元でサーチ(仮称)」のしくみ

- 現在地からSPARQLクエリで問い合わせ
- 移動方法をスライダーで選択
- 検索リストからデータへアクセス
- アクセスしたデータをピックアップ
- メモリを自動検出し、比較が可能に

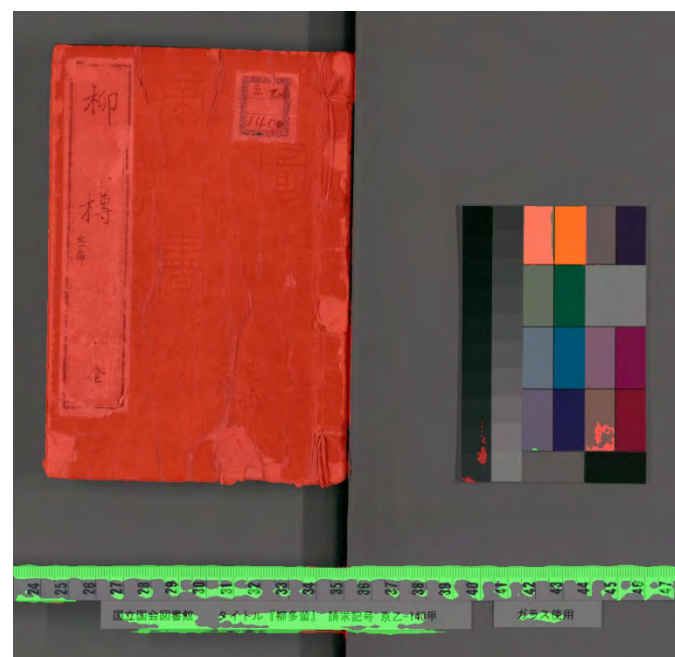
♣ みなさまのコメントで多かったサイズ自動調整

得票率
約40%

元の画像

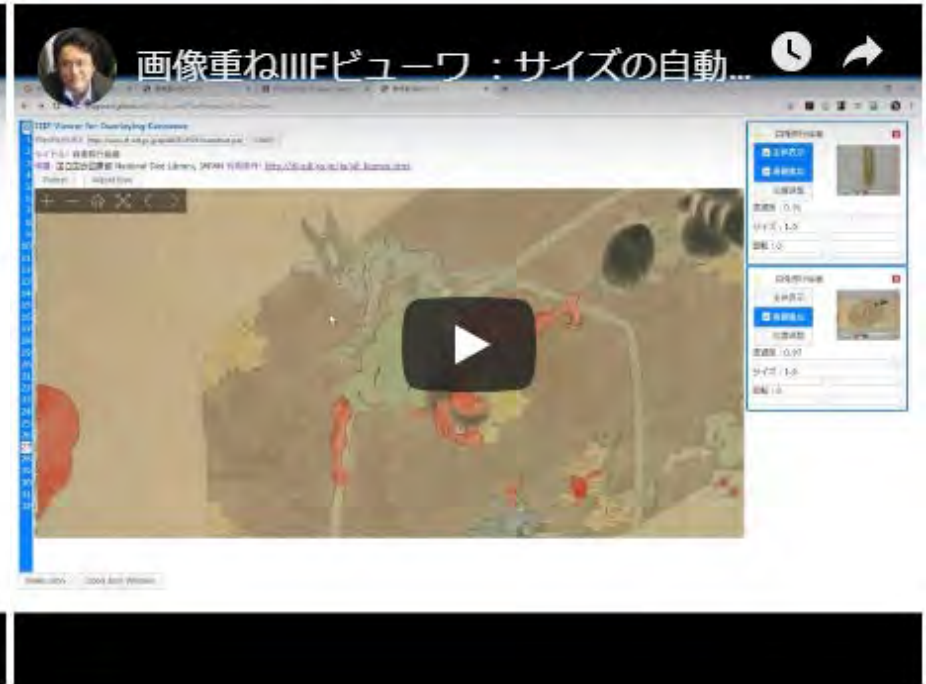


セマンティック
セグメンテーション



抽出したスケールから間隔を検出して利用

♣ 成果



デモンストレーション動画

①画像重ねIIFビューワ +ディープラーニング・サイズ自動調整

https://youtu.be/rKnqF56Th_U

②画像重ねIIFビューワ : サイズの自動調整で百鬼夜行を簡単比較

<https://youtu.be/CI4zvcKdhDQ>

♣ 今後の「地元でサーチ(仮称)」

- 検索窓をつけて任意のワード検索を可能にしたい
- 各要素のつながりこみ
- (仮称)から正式名称へ